

社会医療法人 柏葉会
柏葉脳神経外科病院

〒062-8513 札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20

代表電話 **011-851-2333**

代表FAX **011-851-2131**

患者支援センター (A館1階) 電話 **011-851-2370** FAX **011-851-9466**

標榜科目 | 脳神経外科・脳神経内科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科 (瀧田 恒一)

病床数 | 許可病床 (一般: 67床、SCU: 15床、地域包括ケア病床: 18床、回復期リハビリテーション: 44床)

駐車場 | 55台

関連施設

法人本部	電話 011-850-5033
かしわば記念クリニック	電話 011-851-2580
白石中央病院	電話 011-861-8171
訪問看護ステーションふくずみ	電話 011-855-2933
ケアプランセンターかしわば	電話 011-855-3031
デイケアセンター笑む	電話 011-850-5041



救急指定病院
 救急患者さんは、診療日・診察時間を問わず
 24時間365日診察しております

法人職員数 | 495人

(2023年10月1日現在)

沿革

1971年4月19日
 柏葉脳神経外科医院開院

1975年10月
 柏葉脳神経外科病院となる

2020年3月1日
 特定医療法人から社会医療法人への移行に伴い「社会医療法人 柏葉会」に名称変更

2021年10月20日
 かしわば記念クリニック開院

2022年1月17日
 かしわばワクチンクリニック開院

2023年7月3日
 医療法人 白石中央病院と合併

診療のご案内

診療時間 月・火・木 9:00~17:00 水・金 9:00~12:00
受付 月・火・木 8:30~11:30 / 13:00~16:00
 水・金 8:30~11:30
休診日 土・日・祝・年末年始 (12月30日~1月3日)

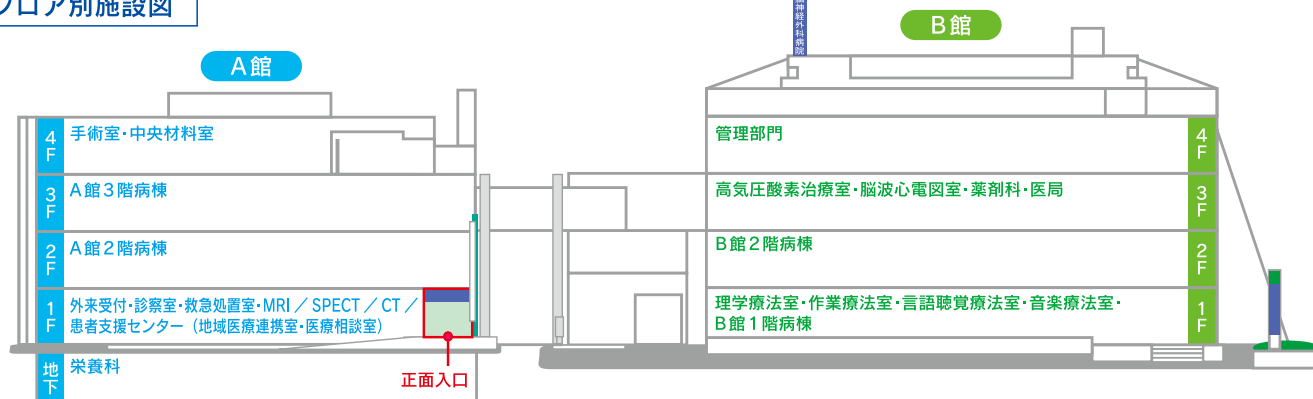
外来診療

脳神経外科	脳血管病外来
脳神経内科	FUS (集束超音波) 外来
循環器内科 [予約制]	

専門外来 [予約制]

予約電話番号 ☎ **011-851-2370** 予約受付時間 月~金 9:00~17:00

フロア別施設図



主な施設認定

- ◆ 日本脳卒中学会一次脳卒中センター (PSC) コア
- ◆ 日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設
- ◆ 日本脳卒中学会認定研修教育病院

主な設備

- MRI装置 (磁気共鳴断層撮影装置 サイレント3.0T×1台、1.5T×2台)
- 80列CT装置
- 血管撮影装置 (DSA)
- FUSの超音波発生装置
- 核医学検査装置 (脳血流SPECT、Dat Scanなど)
- カラー超音波診断装置
- 手術ナビゲーションシステム
- 神経筋電気刺激装置
- 高気圧酸素治療装置
- 理学療法室
- 作業療法室
- 言語聴覚療法室
- 音楽療法室
- ADL室
- ドライブシミュレーター

患者でなかった昨日に、患者でない明日を

新病院紹介 01

世界を見つめ、地域と歩む。

柏葉脳神経外科病院は、
 新しいステージへ。



vol.60
2023.12



法人理念 信頼と尊敬の医療

世界を見つめ、地域と歩む。

柏葉脳神経外科病院は、 新しいステージへ。



社会医療法人 柏葉会 理事長
寺坂 俊介

従来のイメージを超える、 新病院の機能と環境。

2024年秋の新築移転を機に、大きく変わろうとしている柏葉脳神経外科病院。なかでも注目すべき点は救急部門です。救急搬送された患者さんがほぼ移動することなく、MRIやCTなどの検査や治療が可能になります。「これを私たちはワンストップスマートERと呼んでいます。短時間で変化が起こり得る脳卒中救急の現場で、診断から治療まで一気に行えることは患者さんの安全につながります」と話す寺坂俊介理事長。さらなる注目点は「詰所」のない病棟です。「看護師と患者さんが向き合う時間を増やしたい思いがありました。当院では全職員がモバイルでカルテの記録やカンファレンスを行い

ます。集まる時間を省いた分、患者さんとコミュニケーションを取って、どんな小さな変化も見逃さないようにしてほしいんです。

ほかにも、ARや室内移動できるCTなど、高度な先進手術を実現できる機能を備えた手術室、多彩なリハビリスペース、敷地内には広い緑地も。「新病院の姿をつくる上で、3つのキーワードを打ち出しました。キーワードの内容の実現に、この設備や環境は必要不可欠でした」。

新病院の姿が明確になる、 3つのキーワード。

「新規事業の意図や取り組みを明確にするには、言葉が大切です」。そう話す寺坂理事長が打ち出した新病院のキーワードは、「レ

ジリエンス」「イノベーション」「インクルーシブ」。

「レジリエンス」の意味は回復。新病院では患者さんの回復力を引き出すことを重視しています。「そのために必要なのは、いち早い診断と治療、おいしい食事、寄り添うひとや心を癒やす緑など、患者さんにとってのいい環境だと考えています」。

二つ目は、民間病院だからこそできる「イノベーション」。柏葉脳神経外科病院では院内に「先端医療研究センター」を持ち、日々進歩する医療技術を研究。そこへ最先端の医療機器を取り入れること

で、患者さんへの還元につなげていきます。

三つ目の「インクルーシブ」は「すべてを包みこむ」の意味。障がい、国籍など、どんな背景を持ったひとでも働けるユニバーサルな環境づくりを目指します。「今考えている一つが、アバターの使用です。分身として使うことで、どんな障がいがあっても院内の案内ができますし、在宅で勤務できる可能性も高まります。こうした技術をうまく駆使すれば、個々の特性が生きる環境を見つけられると思います」。

ふるさとのために。 医療提供を続けるために。

医療提供を長く続けるために、柏葉脳神経外科病院ではSDGsにも積極的に取り組んでいます。「現在はカルテやレントゲン写真の電子化、外国人技能実習生の受け入れのほか、新病院では敷地内の緑地を地域に開放する予定です。憩いの場として、災害時の避難場所として役立ててもらえたら」。取り組みは食の分野にも及びます。「北海道の第一次産業を支えるお手伝いができたらと思い、規格外の食材を購入して職員食堂で活用しています。将来は患者さんの給食

を地産地消でやりたいと思っています」。

寺坂理事長が新病院に描く未来像は、「地域の方が信頼と誇りを持てる病院」であること。「世界に通用する神経科学の発信をミッションに、高い医療クオリティを追求していく。そうすれば、地域や北海道全体に貢献できると思うんです。『何かあったら柏葉に』と、頼れる存在になれたらいいですね」。寺坂理事長は、5年前の就任講演を振り返ります。「Think Global, Act Local.世界のスタンダードを地域に戻す、という言葉掲げました。気付けば、ずっと同じようなことを言ってますね」。地域のひとに、北海道のひとに信頼され、職員が気持ちよく働ける社会医療法人でありたい。その決意の現れである新病院は、着実に完成へと近づいています。

Think Global, Act Local



円形に病室を配置し、フリースペースを広くとった、自由広場のようなナースিংホール

レジリエンス
Resilience
命をつなぐ



陽の光が差し込む外来休憩スペース

イノベーション
Innovation
未来へつなぐ

インクルーシブ
Inclusive
個性をつなぐ



情報統合型のデジタル・ハイブリッド手術室、smart OR



豊平川越しに藻岩山を臨む、開放的な職員食堂



名称 社会医療法人 柏葉会 柏葉脳神経外科病院（仮称）
 住所・建物 札幌市豊平区平岸1条11丁目、12丁目 地上7階建
 建築面積 3,626㎡
 延床面積 13,044㎡
 理事長 寺坂 俊介
 院長 寺坂 俊介
 診療科目 脳神経外科・脳神経内科・循環器内科・
 リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
 病床数 167床（SCU 24床、一般 69床、
 回復期リハビリテーション 74床）

人と医療と未来をつなぐ

